

## 外観



北欧をイメージし、木と自然をテーマにデザインされた園舎。園のマークは、育ちゆく樹と子供たちの成長していく姿をイメージさせる。

## 園内



施設内は、園児が楽しく過ごせるように、カラフルな遊具を設置したり、階段に色を施したりと、「明日もゆめのもりに行きたい」「ゆめのもりが楽しい」と思えるよう設計されている。

## 1F 2歳児用トイレ



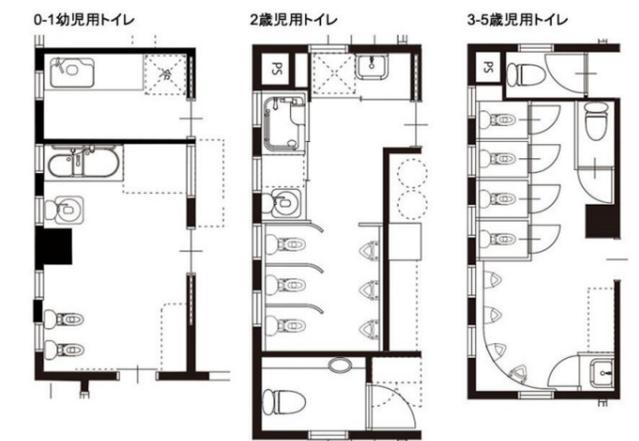
2歳児用トイレ内に設けた、汚物流しとシャワーパン。園児が粗相してしまった際などに利用する。通常は閉扉により隠し、園児が入らないよう管理している。

## 2F 3-5歳児用トイレ



窓をたくさん設置した、明るく清潔感のある空間。大便器ブースは、羞恥心の芽生えた年齢に配慮し、個別扉を設置。幼児の身長に合わせた洗面台も設置されている。

## 図面



## 0-1歳児用トイレ



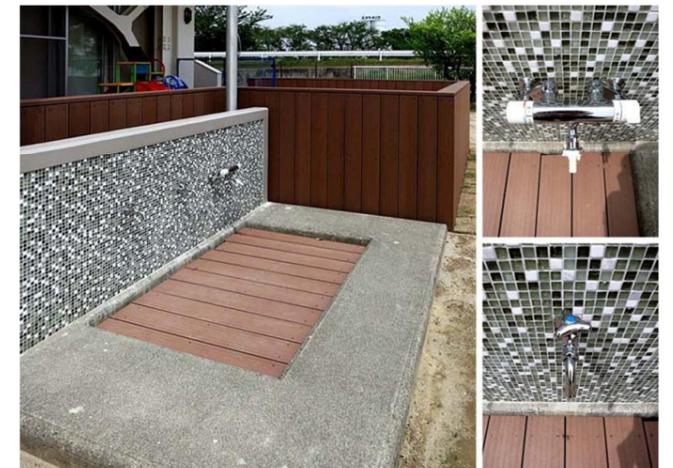
トイレは保育士が介助できるようにオープンスペース設計。幼児の体格にあった大便器、手すり付き紙巻器ほか、沐浴用の幼児用バスを設置。沐浴後の動線を考慮して、隣接してベビーベッドを設置している。

## 2F 3-5歳児用トイレ



小便器を円形に設置したり、大便器ブースの扉の色を変え、楽しい雰囲気をも演出している。すべての小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減する、ハイドロセラ・フロアキッズを採用。

## 屋外水栓



0-1歳児の保育室から出入りできるテラス。外で遊んだ後、園内に入る際、使用する水栓を設置している。

## 1F みんなのトイレ



保護者や先生が使用するトイレは、乳幼児連れ配慮としてベビーシートを設置。隣接する手洗器は、園児が楽しみながら使えるように上部の鏡を雲形に造作し、楽しい雰囲気を演出している。

## 1F 2歳児用トイレ



2歳児室の前に設けたカラフルな仕切りを設置したトイレ。延長保育時の園児も使用するため、大便器ブースは、羞恥心が芽生え始める3歳以上の子が使用しても恥ずかしくないように、仕切り付きにしている。

## 建築概要

名称	ゆめのもりこどもえん
所在地	愛知県清須市春日八幡裏48
施主	学校法人 福寿学園
設計	株式会社 フォーラム
施工	株式会社 長瀬組
竣工年月	2016年3月

## 水まわりの特長

**<施設の概要>**  
2016年4月に開園。「ゆめのもりこどもえん」は、『あかるく・たたく・たくましく』を教育理念とした、0-5歳までを受け入れる清須市唯一の幼保連携型認定こども園。就学前の子どもに幼児教育と保育を一体的に提供するほか、子育て支援センターを併設。地域の子育て家庭に対する支援を行い、共働き世帯の幼児の一時預かりもしている。芸術や英語、運動、音楽など特別教育を特色とし、さまざまな体験を通した、明るく楽しい教育の提供を目指す。施設は、子供の成長に合わせて使いやすい工夫と、特徴的なカラフルな遊具を設け、遊びや学びに集中できるような教育現場作りを行っている。

**<トイレの特長>**  
子供の成長に合わせたトイレの設備・器具を整備。0-1歳児用トイレは、保育者が排泄介助しつつトイレトレーニングを行えるようにオープンスペースのトイレを、教室に隣接するよう配置。2歳用トイレは、羞恥心が芽生えた園児が恥ずかしくないようにブースに仕切りを設けている。3-5歳児用トイレは、園児が自立してトイレに行けるように、トイレブースを設置。トイレ内は、扉や仕切りをカラフルにしたり、小便器を円形に設置するなど、園児がトイレを楽しく使用できるよう、工夫されている。1Fには、保護者や保育者が利用する「みんなのトイレ」を1ヶ所設置している。